



日本共産党 北区議会議員

No.40 2022.11 月号

せいの恵子 区政レポート

日本共産党北区議員団

〒114-8508

王子本町 1-15-22

<http://keiko-seino.com> mail@keiko-seino.com

ご相談は
お気軽に

070-3531-0812

電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金

(住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金) 1世帯5万円の申請手続きが始まりました。

給付金を受給するためには、手続きが必要です！

支給対象となる世帯

(住民税が課税されている方の扶養親族のみの世帯ではなく、以下①②のいずれかにあてはまる世帯)

① 世帯全員の令和4年度
「住民税(均等割)が非課税」
の世帯

② 左記①以外の世帯で、令和
4年1月から12月の収入が減少
し、「住民税非課税相当」の収
入となった世帯(家計急変世帯)

★家計急変世帯
とは…

予期せず家計が急変したことで収入が減少し、世帯全員が住民税非課税相当の収入になった世帯

北区から申請書類を発送します (要返送)

- ※ 一部申請が必要な場合があります。
- ※ お手元に届かない場合は、コールセンターにご連絡ください。

申請が必要です

- ・ 申請時点で北区に住居登録のある世帯は北区にご申請ください。
- ・ 申請期限を過ぎると、給付が受けられなくなります。
- ・ 申請書類等のお問い合わせは、コールセンターにご連絡ください。

お問い合わせ (北区価格高騰緊急支援給付金コールセンター)

フリーダイヤル 0120-550-620

受付時間 午前9時～午後6時(土・日・祝日・年末年始を除く)

※直接の相談窓口も2カ所あります。

- ・ 北区役所 1階
(みずほ銀行 ATMがある玄関入り口)
- ・ 滝野川分庁舎(旧滝野川中学校)

扶養している親族の状況	非課税相当収入限度額
単身又は扶養親族がいない	100.0万円
配偶者・扶養親族(1名)を扶養	156.0万円
配偶者・扶養親族(計2名)を扶養	205.7万円
配偶者・扶養親族(計3名)を扶養	255.7万円
配偶者・扶養親族(計4名)を扶養	305.7万円
障害者、未成年者、寡婦、ひとり親	204.3万円

※これを超える場合は、上記の被扶養者の人数に応じた区分を適用

子育て世帯に対する家事支援用品購入支援事業 ～家事時短用品の購入を支援します！～

対象世帯へは、専用IDを記載したご案内を令和4年10月21日に発送しました。

(10月1日以降、北区へ転入された方へは、順次ご案内を送付します)

北区家事支援用品購入支援事業コールセンター TEL: 0120-756-027 (平日9時～17時)

健康福祉委員会で視察に行ってきました。

10月27日、28日で群馬県と富山県に健康福祉委員会の視察に行ってきました。

北区議会での委員会視察は3年ぶりです。今回は、群馬県の「ぐんまちょい得シニアパスポート」、富山県富山市の医療・障害者・高齢者等複合施設である「まちなか総合ケアセンター」を調査しました。

🌸群馬県「ぐんまちょい得シニアパスポート」

事業の目的は、高齢者の積極的な外出を促し、地域との交流や自身の健康維持につなげる、さらに緊急時の連絡用カードとして活用すること。高齢者を地域で支え合う社会の実現に向けた機運の醸成も期待されています。

県が地域の事業者者に直接働きかけ、今は協賛店が1800店以上になり、各店が割引やポイントサービスを行ったり、地域に密着したお店では、お茶やマッサージなど工夫を凝らしたサービスがあるとのこと。

今後の課題としては、協賛店の拡大や利用状況の把握、カードのアプリ化などがあげられていました。

コロナ感染拡大の中で、事業者や販売店の売り上げ減少や高齢者の外出実態の把握が出来ていないことは、この自治体でも共通の課題だと感じました。



🌸富山市「まちなか総合ケアセンター」

まちなか総合ケアセンターは、小学校跡地に地域包括ケアの拠点として建設された3階建ての施設です。

1階：まちなかサロン・地域連携室・子ども発達支援室

2階：まちなか診療所・医療介護連携室・病児保育室

まちなか診療所は富山大学病院の医局と連携し、総合診療医師が市の常勤として4名、看護師は市民病院と連携し8名、その他、社会福祉士、精神保健福祉士も在籍し、在宅医療に特化した診療所として、24時間365日体制で対応しています。約6割が、がん末期の在宅医療だが、脳卒中や難病患者の利用もあり、市内から16kmまでの範囲に対応。コロナで病院での面会ができない家族や在宅での治療を望む患者も多く、ニーズが高まっているとのことでした。

病児保育室は、病児専門保育士、看護師が在籍。子どもが保育園で体調が悪くなった時、保護者がすぐに迎えにいけない場合は、病児保育室の看護師と保育士が迎えにいき、医療機関で受診後に病児保育室で保育を行ってくれます。タクシーを利用した場合も保護者の負担は4分の1。働く親には心強い事業だと感じました。

3階：産後ケア応援施設

デイケア事業の他、最長6泊7日まで利用できる母親のレスパイトもあり、出産後のサポートを助産師が中心に対応しています。

